

補助事業計画書・成果報告書－1

(No. －)

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和元年 5月31日 報告

担当課

建築指導課

補助金等の名称	佐倉市住まいの安全・安心リフォーム支援事業補助金						
予算科目	一般会計	款	7	項	1	目	2
予算事業名	既存建築物耐震改修等支援費						
実施計画の位置づけ	既存建築物を耐震化する市民に対し支援します。						
補助金分類							
国県補助の状況	国 付 ・県付・国直接・県直接・国県補助なし					150 千円	
交付先	個人						
支出根拠規定	佐倉市災害対策条例、佐倉市災害対策事業補助金交付規則、佐倉市住まいの安全・安心リフォーム支援事業補助金交付要綱						
補助の目的	昭和56年5月31日以前の既存建築物(旧耐震)の耐震性の向上を図る。						
補助の効果	旧耐震で耐震度の低い建築物の補強改造等に対する補助を行うことにより、耐震化の促進を図る。						
補助対象事業の 具体的内容	昭和56年5月31日以前に建築された旧耐震の木造建築物のうち、耐震診断を行い、耐震性が低い建築物に対し、「一応倒壊しない」「倒壊しない」耐震度まで補強する工事の際に行うリフォーム、または耐震シェルターの設置及び同時に行うリフォームに必要とする経費の一部を補助金として交付する。						
対象経費及び補助率	①耐震改修工事と同時に行うリフォームに係る経費の1/10(上限100千円) ②耐震シェルター設置に係る経費の1/2(上限150千円) ③②と同時に行うリフォームに係る経費の1/10(上限100千円)						
補助金額の根拠	①耐震改修工事と同時に行うリフォームの費用を1,000千円と想定し、1/10を補助して上限100千円とした。 ②耐震シェルター設置の費用を300千円と想定し、1/2を補助して上限150千円とした。 ③②と同時に行うリフォームの費用を1,000千円と想定し、1/10を補助して上限100千円とした。						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他						
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

(No. －)

		担当課		建築指導課	
補助金等の名称		佐倉市住まいの安全・安心リフォーム支援事業補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,750	①15件 ②1件 ③1件		223	3件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	平成25年度の事業開始から年々申請件数が減少しています。熊本地震を経て増加に転じられると思いますが、今後も事業の周知、啓発をしていきます。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	3,250	①20件 ②5件 ③5件		946	①12件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	平成28年4月の熊本地震の影響を受けて申請が増加したと思われます。今後も事業の周知啓発活動に努めます。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	3,250	①20件 ②5件 ③5件		47	①2件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	昨年度の熊本地震後の申請件数から減少しています。今後も事業の周知、啓発に努めます。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	3,250	①20件 ②5件 ③5件		300	①3件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	木造住宅補強改造工事補助金の対象を拡大したことにより、申請件数が増えました。今後も事業の周知、啓発に努めます。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	3,250	①20件 ②5件 ③5件			
	成果達成状況の分析と今後の方策				
計画期間終了後の最終的な目標値		耐震化率の向上を図る。			
計画期間終了後の最終的な成果値					